

事務事業評価資料

施策名		観光ツーリズムの推進		所管部局課名	産業労働部観光・国際局観光振興室						
事業名		あいたい兵庫キャンペーン実施事業		担当者電話番号	大型観光交流キャンペーン推進担当 078-362-3838						
事業目的		兵庫県の観光資源の発掘・磨き上げにより魅力を高め、全国に向けて情報発信を行い、本県への誘客を促進									
事業内容		社団法人ひょうごツーリズム協会が実施する事業へ負担 総事業費：4,000万円(うち県費2,000万円)			事業開始年度	平成21年度					
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額					
	事業費	(0千円) 0千円		(10,000千円) 10,000千円		(10,000千円) 10,000千円					
	人件費	0千円	従事人員 0.0人	8,360千円	従事人員 1.0人	8,204千円	従事人員 1.0人				
	総コスト(+)	0千円	従事人員 0.0人	18,360千円	従事人員 1.0人	18,204千円	従事人員 1.0人				
事業の目標		県内宿泊者数の増加 「県政推進プログラム100」で設定した目標 「あいたい兵庫キャンペーン」等誘客促進事業の展開による年間県内宿泊者数9,200千人(H25まで)の達成の実現(H21 8,000千人、H22 8,500千人、H23 9,000千人、H24 9,100千人 H25 9,200千人)			[目標設定理由] ・観光キャンペーンの実施は、観光客の増加に繋がり、特に、宿泊者の増加は、地域経済への貢献度が高いため、観光庁が実施する宿泊旅行統計調査に基づく県内宿泊者数の増加を目標として設定した。 但し、「あいたい兵庫キャンペーン」は、左記の県政推進プログラム100で設定した年間宿泊者数H22 8,500千人の目標を達成するための誘客促進事業の一つである。						
目標の達成度を示す指標		達成の実現	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)			
		県内宿泊者数(千人)	目標値	年度				H20	H21	H22	
			8,500千人	平成22年度	(-)	(-)	(-)				
評価結果	必要性	・経済の減速等により旅行意欲が減退している現状を考慮し、着実に県外からの観光客入込数の確保を図るためには、あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン(DC)・やっぱりひょうごキャンペーンで得られたノウハウや成果を活かし、観光客の誘客に取り組む必要がある。									
	有効性	・H21に実施した2つのキャンペーンで得られたノウハウや成果を活かし、JR西日本をはじめとする交通事業者・旅行会社等と協力し事業を実施することにより、観光客を増加させ、大きな経済効果をもたらし、地域経済の活性化に寄与すると考える。									
	効率性	・交通事業者・旅行会社等有する販促のノウハウや宣伝媒体を活用するとともに、H21に実施した2つのキャンペーンで得られたノウハウや成果を活用し実施することとしている。 ・また、本事業は観光に関する専門知識、経験を有する県レベルでの唯一の団体である(社)ひょうごツーリズム協会が主体的に実施することにより、効率的な事業実施を図っている。									
	民間・市町との役割分担	・ツーリズムについての専門的知識と豊かな経験を有し、市町や観光協会、観光関連企業等と緊密な連携関係があり、民間の活力・地域の主体性を最大限に活用できる(社)ひょうごツーリズム協会を事業主体として実施する。 ・なお、(社)ひょうごツーリズム協会は誘客促進のための広報宣伝を行い、市町等は観光客を受け入れるための観光素材の発掘・磨き上げを行うこととしている。									
	受益と負担の適正化	・地域の活性化に資することから負担割合を県：市町＝1：1としているほか、観光関係企業や団体でも様々な事業が展開される。									
実施方針	方向性	新規	拡充		継続	実施手法の見直し					
		廃止	縮小		統合	凍結(休止)	延長				終期設定
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲		民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン(DC)の成果を継承・発展させ、更なる誘客を図る観点から、DCのポスト事業として取り組む。										